

東海第二原発稼働20年延長 規制委員会が「合格」と・・・

老朽原発の再稼働を許さないたたかいをさらに！



8月2日の審査会で原子力規制委員会は、公開での議論をほぼ終了したとしています。東海第二原発の再稼働には、運転40年目にあたる今年の11月28日の前日までに、3つの審査をクリアしなくてはなりません。

原子力規制委員会は、

① 新規審査基準に合格すること。

⇒9月にも正式合格させる見通しです。

・審査は7月4日には事実上合格として、パブリックコメントを8月3日に修了。

② 工事計画の承認

⇒規制委員会「重たい課題は片付いた。」

・焦点となっていた原子炉建屋の開口部を「ブローアウトパネル」と言う「巨大な板」閉じられるかどうかの性能試験の結果を、8月2日の公開審査で了承した。

③ 40年を超える運転延長の承認

⇒規制委員会「大きな論点はない」

原子力規制委員会の更田委員長は、「11月までに審査を終えられる見通しを持っている。」と語っています。「規制する」どころか「推進」する姿勢がありあります。

今年の11月28日前日までに3項目の審査承認が行われると、日本原電は「工事計画」にのっとった工事に入り、工事終了の予定は「21年3月末」といわれています。

今年の3月、「5市1村」と日本原電とで結ばれた「新安全協定」が、どの時点で発効するについては「玉虫色」になっており、今後の詰めが重要になっています。「工事」が完了し、再稼働する際に新安全協定に基づいた協議が行なわれるという事もあり得ます。

その時日本原電が「1740億円もかけた工事が終了した。今さら稼働反対には納得できない。」と言い出すことは明らかです。安倍政権は、「沖縄県が辺野古基地埋め立て工事承認撤回をするなら、損害賠償の裁判を起こす。」などと理不尽な発言をしています。

東海第二原発の再稼働をめぐっても同様な理屈を持ち出してくることが考えられます。

そのような状況になっても「5市1村」が再稼働反対の立場を取れるのか？ 私たち県民の「東海第二原発廃炉」の声をおおきく結集した取り組みがさらに重要になります。



・・・日本平和大会学習パンフができました・・・

「戦争でなく 平和への 準備を！」

★安倍9条改憲NO！ ★沖縄から平和への波を
平和大会パンフ 8月10日で全国1万冊突破

秋のたたかい（特に沖縄知事選勝利）の力とする2018年日本平和大会学習パンフが8月3日より発売となりました。「B4版・フルカラー・24P 1部200円」。

内容は、1. 「非核平和の北東アジアへ歴史的な一歩」～ 4. 「新基地に立ちはだかる沖縄県民と知事」～ 11. 「沖縄から日本、アジアへ 知事選挙で平和の流れをさらに」と、11の項目を立て、すべて見開きで項目の内容全体が一目で理解できるようになっています。沖縄の闘いを軸にして平和のたたかいの現状と、未来への希望が、これ一冊でつかめます。是非とも手に取って下さい。そして会員外にも普及しましょう。

歓迎！新入会員のみなさんです。

よろしくお願ひします。

○ ** ** * さん（五霞町）

○ ** * さん（常陸大宮市）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

茨城県平和委員会 第2回理事会

と き 2018年9月8日（土）

午後1時30分～午後4時30分

ところ 県青少年会館 小研修室

（水戸市緑町1-1-18）

※理事会開催前にグループ会議を開き、秋の取り組みを協議して下さい。

※理事会には協議した内容を持ってきて下さい。

協議内容

1. ・夏の取り組みの交流 ・県内平和行進の成功
 - ・原水爆禁止世界大会（広島）
 - ・「戦争と平和を考える特別月間」の取り組み 仲間づくり 等
2. 秋のとりくみの討議と意思統一
 - ・とき 10月15日（月） 午後6時30分～7時30分
 - ・内容 県内主要駅頭一斉宣伝（事務局作成のチラシ配布 など）
3. 継続したとりくみ
 - ・安倍改憲NO！3000万署名 ・ヒバクシャ国際署名



平和新聞

2018年9月5日（水）

2178号（毎月5,15,25日発行）

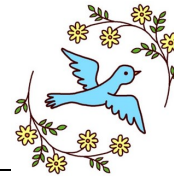
1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館
（郵送料月額120円）電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No.817
2018.9/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川2-127-281
TEL/FAX 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

初めて市当局との懇談―「かすみがうら市平和の会」

市のヒバクシャ署名や戦争と平和展開催を要請！



今年3月に結成された「かすみがうら平和の会」が、8月22日（水）、市の担当者と平和行政について懇談をしました。これは6月21日（木）、市長あてに提出した「平和行政についての要望」の懇談が実現したものです。市側は総務課長と担当職員、教育委員会の学校教育課長と担当職員が出席しました。かすみがうら平和の会から、立花会長をはじめ4名の会員が出席。記者として、県平和委員会の木村事務局長も参加しました。

■ 市庁舎で原爆・戦争展の開催を開催する ⇒（市）前向きに検討したい

（回答）戦争と平和について考えて頂くよい機会と考えている。他の市町村の取り組み状況などを考慮した上で検討します。千代田地区で開催する場合、スペース、来場者などを考えると庁舎での開催がふさわしいと思う。市庁舎の利用者については担当の管財課と相談し、前向きに検討したい。

（平和）私たちも協力するので、是非とも実現してほしい。併せて広報誌での宣伝等も検討していただきたい。

■ ヒロシマ・ナガサキの平和式典に中学生を派遣すること ⇒（市）今後検討をしたい

（回答）市内の中学生は27・28年度に広島・京都・奈良に行った。現在は行っていない。

中学生による8月の被曝地訪問は予算・日程等において難しい状況にあるが、今後とも検討を続けたい。

（平和）修学旅行と別建て、平和大使として派遣を考えて頂きたい。

■ ヒバクシャ国際署名を市で取り組んでほしい ⇒（市）まず市職員に呼びかけたい

（回答）市としても核兵器の速やかな廃絶を訴えている。まず市職員に呼びかけを広げて行きたい。

（平和）全世界で数億筆を集めようとしている。直ちに取り組んでほしい。市のホームページから署名用紙をプリントアウトできるようにしてほしい。

■ 「自衛隊適齢者名簿」の提出は止めること ⇒（市）改めて検討したい

（回答）「自衛隊法97条1項に基づく法定受託業務」として行っており、法的に問題はないと考えている。

（平和）「受託業務」となっているが「義務規定」ではない。他市と同様に「市としての主体的判断」が必要だ。市民の個人情報の厳格な管理を優先してやってほしい。

（回答）今後については改めて検討したい。

■ 平和行政の担当者を置いてほしい。 ⇒明確な回答なし

翁長雄志知事を名誉市民に

那覇市、9月議会提案へ



那覇市は、8月8日に死去した前那覇市長で県知事の翁長雄志さんを名誉市民に選定する議案を、9月3日から始まる那覇市議会9月定例会に提案する。可決されれば、市長経験者での名誉市民は6人目となる。

翁長さんは、2000年12月から14年10月まで、4期14年にわたって那覇市長を務めた。市は「公共の福祉の増進、市民生活の向上に貢献した。市民からも深く敬愛され、市の発展に多大な功績を残した」として、名誉市民に推薦する。

那覇市の名誉市民には、瀬長亀次郎さんや西銘順治さんから歴代の市長経験者の他、屋良朝苗さんや石川正通さんが選定されている。（琉球新報8月28日）



沖縄県知事選

玉城デニー氏が29日出馬表明

9月30日投開票の県知事選に向け、県政与党が出馬を要請した玉城デニー衆院議員（58）と同後援会幹部、与党などでつくる調整会議の正副議長による会合が26日、沖縄市内であった。出席者によると、玉城氏は29日に「出馬を正式表明すること」を出席者に伝えた。会合後、玉城氏は記者団に「後援会から一致団結して知事選に臨んでほしいという力強い声をもらった」と述べ、重ねて出馬する意向を示した。

手書きの「守谷平和の会ニュース」300号達成！

毎月2回の定期発行を12年継続しています！



「守谷平和の会ニュース」が、定期的に県の事務局に送られてきます。このニュースは写真もふんだんに入っていますが、驚くことに文字はすべて「手書き」です。会の活動紹介を中心に、会員の声や協力の訴え、時事解説など、幅広い内容が、情勢に応じて掲載されます。今年の9月発行分で300号に到達します。おめでとうございます。今後も期待します。

編集者からの手紙をご紹介します。

いや～今年の夏は、何なんでしょう。酷暑、猛暑、極暑、大変な暑さを表す言葉のあるたけのことを並べても表現出来ない位の暑さでした。

そんな暑さにも負けず、さまざまな活動に明け暮れ、奮闘されてことに敬意を表します。

本題に入ります。「守谷平和の会ニュース」で、ご存知の通り、会員の皆さんや、その他の皆さんに会の意味が伝わっているでしょうか。No（ナンバー）の通り、あと3号で300号となります。2006年6月より守谷平和の会ニュースとして発行されました。今年で12年です。編集担当者として、いろいろ考えるところもありますが、良くやって来られたと思っています。

実は100号の時は、日本平和新聞で紹介され、努力賞、新人賞、奨励賞など、評価されたこともあります。

300号を節目とした平和ニュースで取り扱ってみようと思いい、平和委員会として、原稿をお願いしたいと思います。

9月上旬に300号となりますので、忙しいと思いますが、よろしくをお願いしたいと思います。（辛く口をお願いします。）

《守谷平和の会・斉藤 哲 さん》